

令和8年度 園経営計画 足立区立六木保育園

園長 山中 由美

1 園の経営目標

- (1) 安心安全な環境の下、子ども一人一人が自分のやりたいことを実現したり、身近な人と関わったりする中で、自分を信じ、人を信頼する心を育み、たくましく生き抜く力の基礎を培う。
- (2) 保護者や地域と保育園が信頼関係を築き、子どもを真ん中にして、共に育ち合う視点を持ち、「元気に遊べる子ども」「思いやりのある子ども」「意欲のある子ども」を育てる。

2 園の現状

- (1) 子どもたちは、自然に恵まれた園庭でのびのびと体を動かし、四季折々の自然に触れながら自分の好きな遊びや場所を見つけて遊んだり、友達や保育者と一緒に過ごすことを楽しんだりしている。
- (2) 保育者は、子どもの人権を大切にし、一人一人の思いを受け止めて応答的に関わり、子どもの主体性を育む環境を学びあい工夫している。
- (3) 保護者が保育アプリを利用した情報発信に目を通し、園の保育への理解や子どもの育ちの共有ができるよう、規定の園だより以外のお知らせやおたよりはスマートフォンで閲覧しやすいように順次様式を変更している。

3 今年度の重点的項目

重点的に取り組んでいきたい事項-1	一人一人の思いに寄り添った子ども主体の保育を行う。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 子どもが安心して過ごせるよう、一人一人の人権を尊重する。	ア 安心感の中で、子どものありのままの姿を受け止めて応答的に関わり、子ども理解を深める。 イ 年に2回人権研修を行い、人権感覚を磨いていく。
(2) 全職員が全園児の担任である意識をもち、応答的に関わる。	ア 園内支援会議に会計年度任用職員が参加する仕組みを作り、保育者の関わりや援助の仕方を共有する。
重点的に取り組んでいきたい事項-2	子どもが主体的に関わり、探究活動を楽しめる環境をつくる。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 自ら遊びを選び、試したり考えたりできる環境を整える。	ア 子どもの姿、対話から興味を把握し、子どもの“やってみたい”好奇心や試行錯誤が支えられる園庭や室内の環境設定を行う。
(2) 保護者に保育内容の発信を行い、子どもの育ちを共有する。	ア 各プロジェクトは、設定した環境の中での子どもの姿を年に2回以上おたよりで配信し、保護者の保育への理解と子どもの育ちの共有をしていく。
重点的に取り組んでいきたい事項-3	絵本の世界を楽しみ、想像力や試行力を育てる。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 絵本を通じて語彙を増やし、想像力や感性を豊かにする。	ア 読みあいの中で心地よさや絵本のおもしろさを伝える。 イ 週1回の貸し出し絵本を継続し、絵本だよりで読みあいの大切さについて保護者啓発を行う。
(2) 絵本を通して遊びを広げ、試行力や探究心を育てる。	ア 季節や子どもの興味から選書を行って絵本コーナーを整え、保育者が子どもと絵本の仲介役を担い、遊びを広げていけるよう、年4回の園内研修で学びを深める。